工　事　設　計　書

令和　5　年度	工事名	米子インター西産業用地整備事業に係る 洪　水　調　節　池　新　設　工　事

部長	課長	担当課長補佐	審査	設計

設計金額	円
工期	契約日から令和6年3月31日まで
工事場所	米子市赤井手地内
工事概要	洪水調節池（A=4,596㎡）　一式 土工　一式 擁壁工　一式 石・ブロック積（張）工　一式 排水構造物工　一式 舗装工　一式 防護柵工　一式 仮設工　一式

米　子　市

（米子市版）

令和４年８月 10 日改正

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

１　目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。なお、感染状況の変化等により感染拡大防止対策の変更を指示する場合がある。

２　感染拡大防止に向けた取組

（１）現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。

② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「３つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。

③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行厳重警戒地域（Ⅳ）、感染流行警戒地域（Ⅲ）、緊急事態措置区域及び、まん延防止等重点措置区域から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の５日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にＰＣＲ検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。また、感染注意地域（Ⅱ）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する直前にＰＣＲ検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。外出自粛中の行動履歴及びＰＣＲ検査の結果については、確認することのできる書類を転入前に監督員等に提出すること。この対策に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

（２）県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

（３）工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは別紙１第２項により対応すること。

３　感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

４　感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、別紙１第１項及び別紙２により対応すること。

５　新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

６　下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

別紙

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

3つの密を避けるための手引き！

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「ゼロ密」を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

厚生労働省フリーダイヤル
0120-565653

厚労省 コロナ 検索

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

❶「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を！

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合

- 風の流れができるよう、2方向の窓を、1回、数分間程度、全開にしましょう。換気回数は毎時2回以上確保しましょう。
- 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。

機械換気がある場合

- 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。

（注）ビル衛生法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量（毎時毎30㎥）を確保するよう努めなければなりません。

- したがって、地下や窓のない場所の施設であっても、換気設備（業務用エアコン等）によって換気されていることが通常のため、通常に心配することはありません。
- しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- 通常の家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「外気モード」にしましょう。
- 電車やバス等の公共交通機関でも、窓開けに協力しましょう。

厚生労働省フリーダイヤル
0120-565653

厚労省 コロナ 検索

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

❷「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう！

- 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（2メートル以上）を取りましょう。
- スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないよう注意しましょう。
- 飲食店の座席では、隣の人と一つ飛ばしに座ると、距離を確保しやすいです。

  また、真向かいに座らず、互い違いに座るのも有効です。

  店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。

- エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

- 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

厚生労働省フリーダイヤル
0120-565653

厚労省 コロナ 検索

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

❸「密接」した会話や発声は、避けましょう！

- 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ（約3,000個）が飛ぶ」と報告しています。
- 対面での会話や面談が避けられない場合には、十分な距離を保ち、マスクを着用しましょう。

- エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。会話や、携帯電話による通話を慎みましょう。
- 飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない宴しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。

（注）「多人数」とは10人以上を想定していますが、なるべく少ないほうが良いです。

- スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- 喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。

厚生労働省フリーダイヤル
0120-565653

厚労省 コロナ 検索

別紙1

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた
工事及び業務の対応について

1 工事及び業務（以下「工事等」という。）で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応（以下「当対応」という。）（別紙2参照）

（1） 対象者

発注者：監督員、調査職員（以下「監督員等」という。）を対象とする。

受注者：現場で直接作業する作業従事者（現場代理人、主任技術者、監理技術者、担当技術者、作業員(下請含む)及び業務で配置される全ての配置技術者）（以下「作業従事者」という。）を対象とする。（社内の事務員、他現場の作業従事者は、濃厚接触者に該当する場合であっても当対応の対象外）

（2） 用語の定義

現場等：作業場、事業所等をいう。工事においては工事現場、現場事務所及び休憩所、業務については執務を行っている事務所をいう。

陽性者：PCR検査により、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された者

濃厚接触者：保健所が濃厚接触者に該当すると判断した者

感染の疑いがある者：濃厚接触者及び咳や発熱等、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を呈している者

（3） 感染の疑いがある者が確認された場合の対応

ア 感染の疑いがある者が受注者側の作業従事者に確認された場合

別紙２「[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合」により対応。

イ 感染の疑いがある者が発注者側の監督員等に確認された場合

別紙２「[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合」により対応。

（4） 注意事項

ア 陽性者について

陽性者は、保健所、医療機関等の指導に従う。

陽性者の現場作業への復帰時期についても医療機関等の判断に従う。

イ 濃厚接触者について

濃厚接触者は、保健所の指導に従う。

ウ (3)アにおける、「現場等の安全が確保されたか」について

工事等の一時中止を解除するにあたり、保健所の指導に従い、機械設備、現場等の消毒作業を実施する。特に保健所から指導が無い場合、消毒完了をもって安全が確保されたとみなす。

エ (3)イにおける、「工事等の一時中止の要否を検討」について

現場等の作業継続が可能な場合、監督員等の追加・変更（通知）や段階確認の臨場を机上とする（指示）等、現場等が継続できるよう監督員体制等の確保に努める。

2 工事等の書類の提出及び打合せについて

(1) 工事等の書類の提出

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類:契約書、現場代理人選任(変更)通知書、主任技術者等(変更)選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受理、承諾等の押印後は、 押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

(2) 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メール等により打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。

・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。

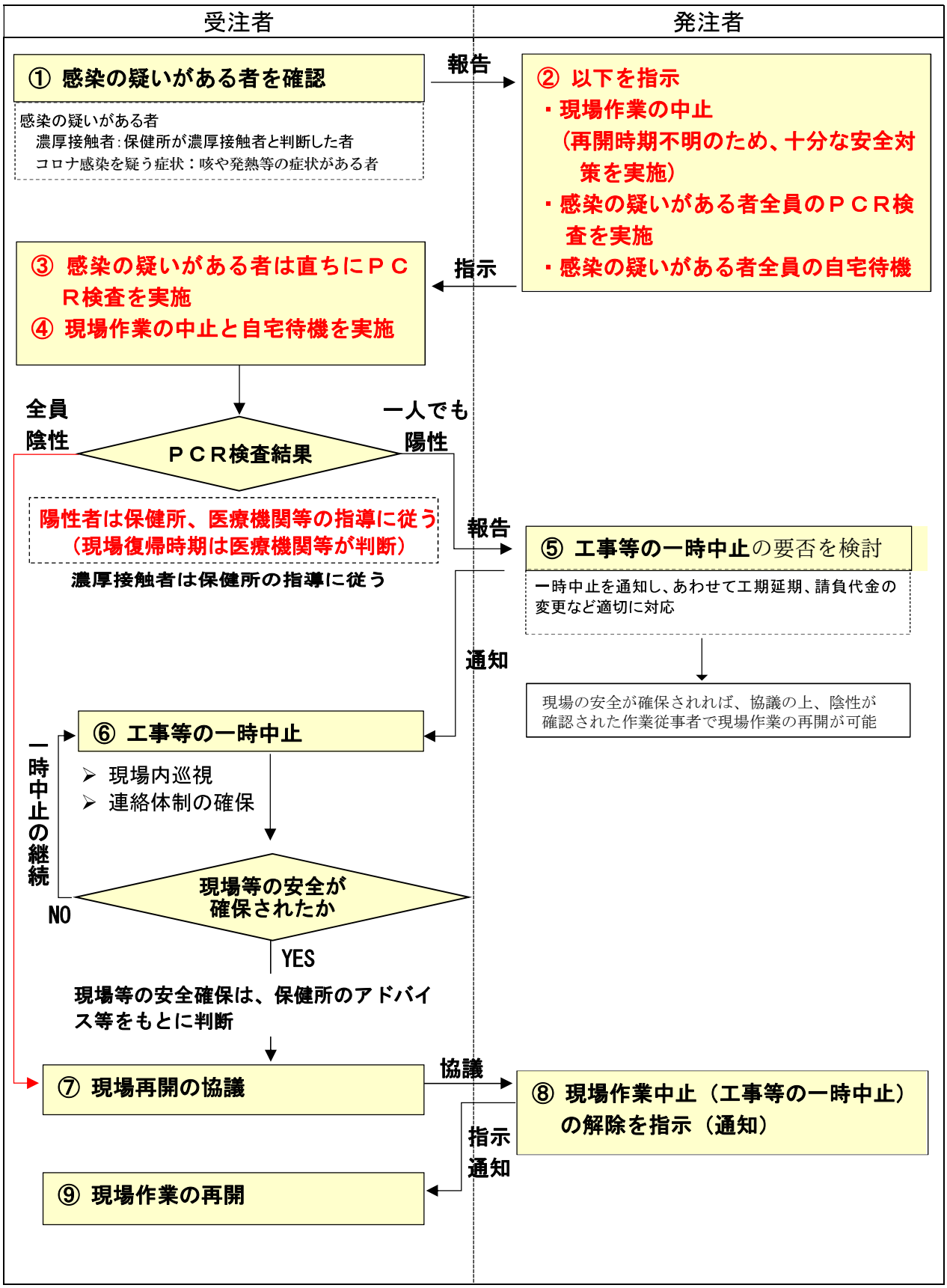
・マスク着用を推奨する等、 感染予防を徹底する。

・打合せ等に出席した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

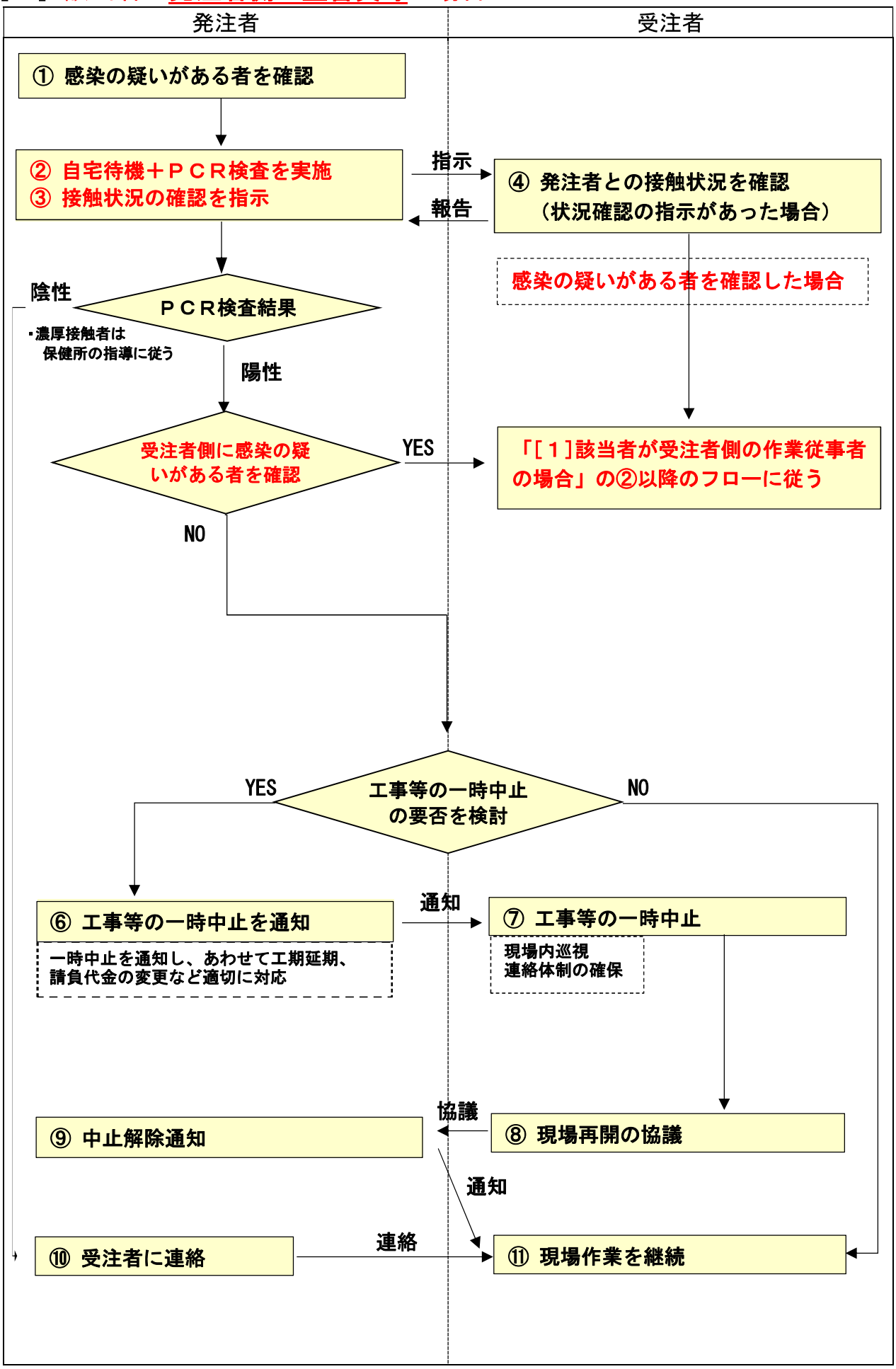
別 紙 2

工事等で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応

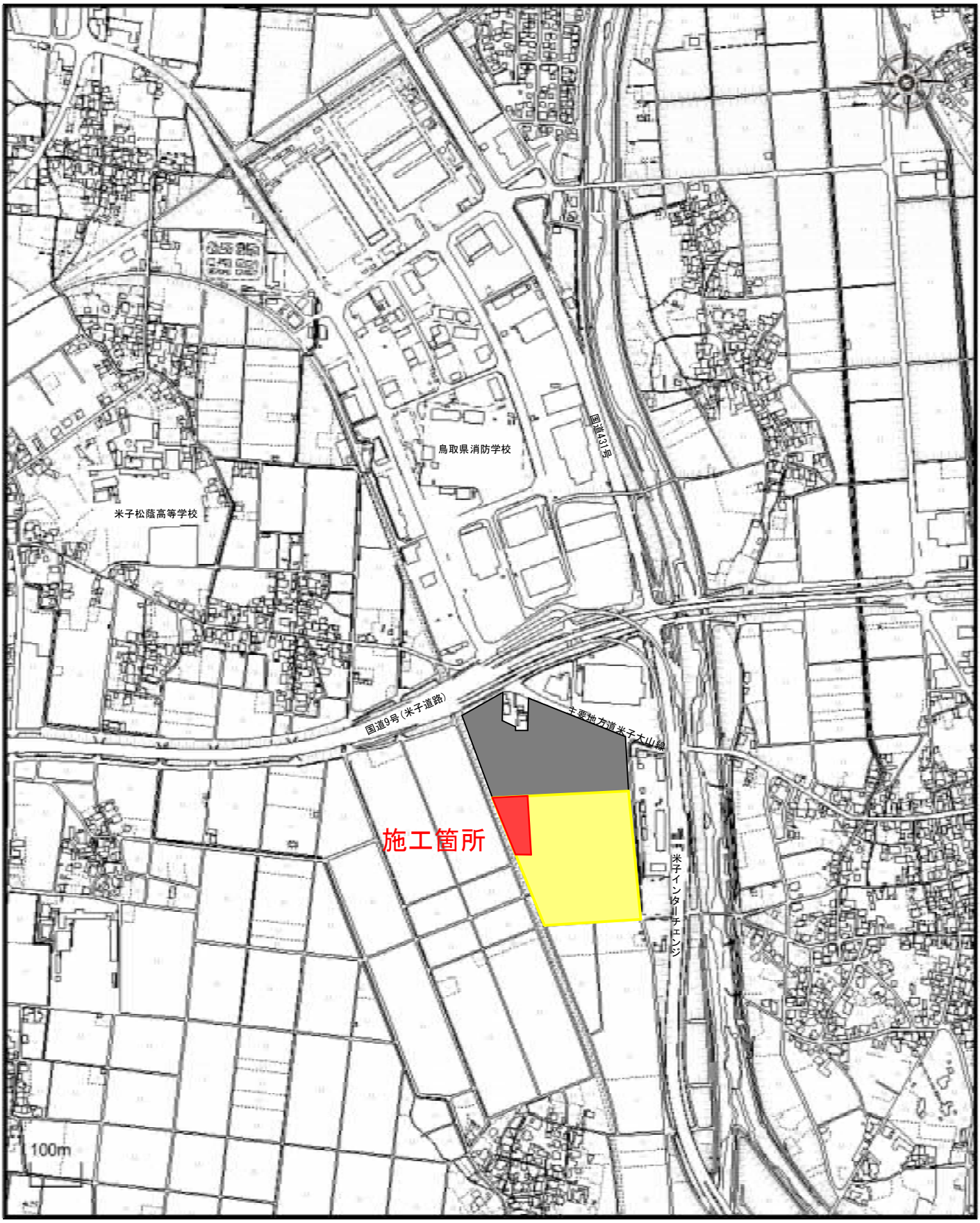
［１］該当者が受注者側の作業従事者の場合



［２］該当者が発注者側の監督員等の場合



位置図


鳥取県消防学校
米子松蔭高等学校
国道431号
国道9号（米子道路）
主要地方道米子大山線
施工箇所
米子インターチェンジ
100m

1 / 10000

：

設計数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	粘性土	m3	5,200	
		掘削	砂質土	m3	3,200	
		表土剥取		m3	1,400	
	路体盛土工			式	1	
		路体(築堤)盛土	購入土,B<2.5	m3	560	
		路体(築堤)盛土	購入土,2.5≦B<4.0	m3	110	
		路体(築堤)盛土	購入土,B≧4.0	m3	3,000	
	残土処理工			式	1	
		土砂等運搬	土砂	m3	2,070	
		土砂等運搬	表土	m3	1,410	
		残土等処分		m3	3,480	
擁壁工				式	1	
	作業土工			式	1	
	場所打擁壁工			式	1	
		重力式擁壁	GW15	m3	52	

設計数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
石･ブロック積(張)工				式	1	
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工			式	1	
		基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m	297	
		コンクリートブロック積	控え35cm,裏コン10cm	m2	577	
		天端コンクリート	σck=18N/mm2	m3	24	
排水構造物工				式	1	
	作業土工			式	1	
	側溝工			式	1	
		自由勾配側溝	縦断用,B500-H1000	m	2	
			縦断用,B500-H1300	m	3	
			縦断用,B600-H800	m	3	
	管渠工			式	1	
		重圧管	D600	m	3	
	排水工			式	1	
		洪水吐		箇所	1	

設計数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		表層	コンクリート版,4.4MPa	m2	3,650	
		路盤	粒度調整砕石,M-40	m2	3,650	
		1号張コンクリート	t=7cm	m	184	
		2号張コンクリート	t=7cm	m	112	
防止柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		フェンス	H=2000,忍び返し付き	m	300	
		1号フェンス基礎	250×250×500	箇所	150	
		両開フェンス扉	H=2000,W=4000	組	1	
		2号フェンス基礎	550×550×800	箇所	2	
		受落し基礎	300×300×200	箇所	1	
仮設工						
	交通管理工					
		交通誘導員	交通誘導警備員B	式	1	
		JR安全対策	工事管理者、列車見張員	式	1	

現　場　説　明　書

令和４年８月10日改正
一般的事項１

1　仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2　下請関係の合理化について

(1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。

(2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。

(3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。

(4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がいない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3　建設資材等について

(1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。

(2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。

(3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。

(4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。

② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4　工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5　建設機械の使用について

(1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。

(2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

(3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6　団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7　ダンプトラック等による運搬について

(1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。

(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。

(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。

(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。

(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8　不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9　建設業退職金共済制度への加入等

(1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

(3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10　建設業法の遵守について

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

(2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。

(3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、１級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。

(4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。

(5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11　労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12　建設業からの暴力団排除の徹底について

(1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

(2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13　現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

(1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

(2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（３か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14　労働者の福祉向上について

(1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

(2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15　産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16　コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては５５パーセント以下、無筋コンクリートについては６０パーセント以下とする。

17　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法(平成25年法律第41号)で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

(1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。

(2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。

(3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。

(4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。

(5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現　場　説　明　書

令和４年１月６日改正
特記事項１

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ 鳥取県土木工事共通仕様書　・ 鳥取県土木工事施工管理基準　・	
工程	①（他工事等との調整） ~~②（部分完成、着工保留）~~ ③（施工時間） ~~④（余裕期間設定工事）~~ ~~⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~ ⑥（週休２日モデル工事）	本工事 については、米子インター西産業用地整備事業に係る複数工事（未発注工事含む） と関連するので相互の連絡を密にすること。 ＿＿＿＿＿＿について は、＿＿＿＿＿＿まで＿＿＿＿＿＿（ すること ・ しないこと ）。 本工事 の施工時間は、 8：30 ～ 17：00 とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和３年４月１日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、＿＿か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休２日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和３年４月１日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	~~①（用地・物件等未処理）~~	本工事区間の＿＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、＿＿＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿＿の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ~~②（支障物件）~~ ~~③（立木の置き場所）~~	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・~~調査済み~~]である。 ＿＿＿＿＿＿の施工に当って、＿＿＿＿＿＿が支障となっているが、＿＿＿＿＿＿までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。
公害対策	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等） ②（JR 近接工事安全対策）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 235 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Ａを合計＿＿名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Ｂを合計 470 名（交代要員[(有)・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第１４条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置しているとみなす。 鉄道敷に近接する作業については、十分注意して施工すること。なお、近接工事の必要日数は 15 日 を見込んでいる。それに伴う、工事管理者を合計 15 名 、列車見張員を合計 15 名 見込んでいる。
排水処理濁水	~~①（濁水処理）~~	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難い場合は別途協議すること。

現　場　説　明　書

特記事項２

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

①（他工事等流用）

建設発生土は　米子市　市・町・村　赤井手　地内の　米子インター西産業用地整備事業に係る敷地造成　工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。

~~②（建設技術センター）~~

建設発生土は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり円をセンターに支払うこと。

③（民間残土受入地）

建設発生土は　米子　市~~・町・村~~　尾高　地内の　（有）小倉興産尾高残土処分場に運搬（片道運搬距離　7.6　km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり　1,330　円を　事業者　に支払うこと。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

~~④（分別解体等）~~

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。

なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊１m³当り＿＿＿＿＿＿円

アスファルト塊１m²当り＿＿＿＿＿＿円

建設発生木材　１m³当り＿＿＿＿＿＿円

~~⑤（他工事等流用）~~

［Co 雑割材・＿＿＿＿＿＿］は、＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。

~~⑥（再資源化施設への搬出）~~

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。

再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊　＿＿＿市~~・町・村~~＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿＿円

アスファルト塊　＿＿＿市~~・町・村~~＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿＿円

建設発生木材　＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿＿円

その他（　　）＿＿＿市~~・町・村~~＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用１m3 当り＿＿＿＿＿円

（受入れ時間帯）　８時～１７時（平日）

（受入れ条件）
ア　路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。
イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm 以下であること。
ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿＿＿＿cm 以下、長さ＿＿＿＿m以下であること。
エ　２次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。

~~⑦（木材市場等へ売却）~~

建設発生木材は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿＿km）を想定し、＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。

~~⑧（最終処理等）~~

＿＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿市・町・村　＿＿＿＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿km）を想定し、その費用として１t 当たり＿＿＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

~~⑨（産業廃棄物の処理に係る税）~~

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を＿＿＿＿＿円見込んでいる。

現　場　説　明　書

特記事項３

<table>
<tr><td>建設副産物の使用</td><td>~~①（建設発生土の使用）~~

②（再生資材の使用）</td><td>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。
1)　Ｃｏ雑割材は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、
使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。
2)　アスファルト・コンクリート切削殻は、＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、
使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。
3)・再生クラッシャーラン〔規格：　RC-40　〕は、
使用箇所：＿基礎砕石＿＿に使用する。
・再生コンクリート砂〔規格：ＲＳ－　　〕は、
使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。
4)　再生加熱アスファルト混合物〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。
5)　その他再生資材〔資材名：　　〕〔規格：　　〕は、
使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。</td></tr>
<tr><td>工事道路用</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>その他</td><td>①（労災補償に必要な保険の付保）

②（現場環境改善）</td><td>本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。
本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する~~・しない~~〕。
下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１実施内容ずつ（いずれか１項目のみ２実施内容）の合計５つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。
１内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
<table><tr><th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr><tr><td>仮設備関係</td><td>１．用水・電力等の供給設備，２．緑化・花壇
３．ライトアップ施設，４．見学路及び椅子の設置
５．昇降設備の充実，６．環境負荷の低減</td></tr><tr><td>営繕関係</td><td>１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）
２．労働者宿舎の快適化
３．デザインボックス（交通誘警備員待機室）
４．現場休憩所の快適化
５．健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr><tr><td>安全関係</td><td>１．工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
２．盗難防止対策（警報機等）
３．避暑（熱中症予防）・防寒対策</td></tr><tr><td>地域連携</td><td>１．完成予想図，２．工法説明図，３．工事工程表
４．デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む）
５．見学会等の開催（イベント等の実施含む）
６．見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
７．パンフレット・工法説明ビデオ
８．地域対策費等（地域行事等の経費を含む）
９．社会貢献</td></tr><tr><td>防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）</td><td>１．防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td></tr></table></td></tr>
</table>

※明示する項目を＿＿＿＿部分に記入又は追記し、不要部分は――で削除して使用すること。

総 括 情 報 表

事務所	54 米子市
設計書名	実施設計書　　当初　　04-******-1024 -40
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1　実施単価
適用単価地区	30 米子市
単価適用日	0-05.01.10(0)
諸経費体系	1　公共
ファイル名	

	当　世　代	前　世　代		当　世　代	前　世　代
工種	04　道路改良				
現場環境改善費	01　率計上する（地方部）				
施工地域	19　補正なし				
契約保証区分	01　金銭保証（０．０４％）				
豪雪割増	01　豪雪割増あり				
工期算定区分	01　算出する				
週休二日補正係数	01　週休二日補正なし				

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費						X1000
洪水調整池			一式			Y1E01　(ﾚﾍﾞﾙ1)
土工			一式			Y1E0101　(ﾚﾍﾞﾙ2)
掘削工			一式			Y1E010101　(ﾚﾍﾞﾙ3)
掘削			m3			Y1E01010101 (ﾚﾍﾞﾙ4)
	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3以上10,000m3未満 粘性土	5,200	m3			SPK22040001 0 A=1,B=1,D=2,E=1,F=4 単第0-0015　表　050110
	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3以上10,000m3未満 砂質土	3,200	m3			SPK22040001 0 A=1,B=1,D=2,E=1,F=4 単第0-0015　表　050110
	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3以上10,000m3未満 表土	1,400	m3			SPK22040001 0 A=1,B=1,D=2,E=1,F=4 単第0-0015　表　050110
路体盛土工			一式			Y1E010103　(ﾚﾍﾞﾙ3)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
路体(築堤)盛土		m3			Y1E01010301 (ﾚﾍﾞﾙ4)
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	560	m3			SPK22040004 0 A=1 単第0-0016　表　050110
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	110	m3			SPK22040004 0 A=2 単第0-0017　表　050110
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し	3,000	m3			SPK22040004 0 A=3,B=1,C=1 単第0-0018　表　050110
土材料		m3			Y1E01010307 (ﾚﾍﾞﾙ4)
山土 ＣＢＲ≧１２	560	ｍ３			TTM0052　0 050110
山土 ＣＢＲ≧１２	110	ｍ３			TTM0052　0 050110
山土 ＣＢＲ≧１２	3,000	ｍ３			TTM0052　0 050110
残土処理工		一式			Y1E010110　(ﾚﾍﾞﾙ3)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土砂等運搬		m3			Y1E01011002 (ﾚﾍﾞﾙ4)
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超) 土砂	2,070	m3			SPK22040002 0 A=1,B=1,C=1,D=1,E=22 単第0-0019　表　050110
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超) 表土	1,410	m3			SPK22040002 0 A=1,B=1,C=1,D=1,E=22 単第0-0019　表　050110
残土等処分		m3			Y1E01011003 (ﾚﾍﾞﾙ4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
建設残土処分料 地山	3,480	m３			TTV0060　0 050110
擁壁工		一式			Y1E0106　(ﾚﾍﾞﾙ2)
作業土工		一式			Y1E010601　(ﾚﾍﾞﾙ3)
基面整正		m2			Y1E01060104 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基面整正	70	m2			SPK22040017 0 単第0-0020　表　050110
場所打擁壁工(構造物単位)		一式			Y1E010605　(ﾚﾍﾞﾙ3)
重力式擁壁		m3			Y1E01060502 (ﾚﾍﾞﾙ4)
重力式擁壁 擁壁平均高さ1m超2m未満 基礎砕石有り 均しCo無し	52	m3			SPK22040062 0 A=1,B=2,D=2,E=1,F=1,G=1,H=1 単第0-0021　表　050110
石・ブロック積(張)工		一式			Y1E0107　(ﾚﾍﾞﾙ2)
Coブロック工(Coブロック積)		一式			Y1E010703　(ﾚﾍﾞﾙ3)
コンクリートブロック基礎		m			Y1E01070301 (ﾚﾍﾞﾙ4)
基礎コンクリート	297	m			G3001 科目内訳0001号表
コンクリートブロック積		m2			Y1E01070305 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック（リサイクル製品） 18-8-40BB	577	m2			SDT00039　0 A=1,B=1,C=1,E=1,F=1,H=0.1,I=1,L=1 単第0-0022　表　050110
胴込・裏込材(砕石)		m3			Y1E01070308（ﾚﾍﾞﾙ4）
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	209	m3			SPK22040045 0 A=1,B=1 単第0-0023　表　050110
天端コンクリート		m3			Y1E01070313（ﾚﾍﾞﾙ4）
天端コンクリート 18-8-40BB 一般養生	24	m3			SPK22040050 0 A=2,C=1,D=1 単第0-0024　表　050110
排水構造物工		一式			Y1E0109　（ﾚﾍﾞﾙ2）
作業土工		一式			Y1E010901　（ﾚﾍﾞﾙ3）
基面整正		m2			Y1E01090104（ﾚﾍﾞﾙ4）
基面整正	10	m2			SPK22040017 0 単第0-0020　表　050110

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
側溝工		一式			Y1E010903　(ﾚﾍﾞﾙ3)
自由勾配側溝		m			Y1E01090304 (ﾚﾍﾞﾙ4)
自由勾配側溝 500×1000×2000	2	m			SDT00015　0 A=1,B=18,E=1,F=1,G=2,I=0.92,J=1,L=0.82,M=1 単第0-0025　表　050110
自由勾配側溝 B500-H1300	3	m			SDT00015　0 A=1,B=50,C=3001,D=2,E=1,F=1,G=2,I=0.92,J=1,L=0.82,M=1 単第0-0026　表　050110
自由勾配側溝 B600-H800	3	m			SDT00015　0 A=1,B=50,C=3002,D=1,E=1,F=1,G=2,I=1.03,J=1,L=0.93,M=1 単第0-0027　表　050110
インバートコンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			SPK22040144 0 A=1,B=2,C=2,F=2,J=1,K=1 単第0-0028　表　050110
側溝蓋		枚			Y1E01090305 (ﾚﾍﾞﾙ4)
蓋版 コンクリート蓋　500歩道用	5	枚			SDT00017　0 A=1,B=9,D=3003,E=2,F=1,G=1 単第0-0029　表　050110
蓋版 コンクリート蓋　600歩道用	3	枚			SDT00017　0 A=1,B=9,D=3004,E=2,F=1,G=1 単第0-0030　表　050110

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
管渠工		一式			Y1E010904　(ﾚﾍﾞﾙ3)
鉄筋コンクリート台付管		m			Y1E01090404 (ﾚﾍﾞﾙ4)
重圧管 D600	3	m			G4101 科目内訳0002号表
排水工		一式			Y1E010907　(ﾚﾍﾞﾙ3)
現場打水路		m			Y1E01090701 (ﾚﾍﾞﾙ4)
洪水吐	1	箇所			G4201 科目内訳0003号表
舗装工		一式			Y1E0204　(ﾚﾍﾞﾙ2)
コンクリート舗装工		一式			Y1E020412　(ﾚﾍﾞﾙ3)
上層路盤(車道・路肩部)		m2			Y1E02041203 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
上層路盤(車道・路肩部) M-40 全仕上り厚２００mm 2層施工	3,650	m2			SPK22040228 0 A=7,E=200,H=1 単第0-0031　表　050110
コンクリート舗装		m2			Y1E02041207 (ﾚﾍﾞﾙ4)
人力舗設	3,650	m2			S3010005　0 A=4,B=0.15,C=0,E=100,F=0.001,G=0.001,H=401,I=11.446,J=401,K=10.583,L=401,M=0.001 単第0-0032　表　050110
目地板 瀝青繊維質目地板t=20mm	2	m2			SPK22040114 0 A=6 単第0-0033　表　050110
１号張コンクリート t=7cm	184	m			G5001 科目内訳0004号表
２号張コンクリート t=7cm	112	m			G5002 科目内訳0005号表
防護柵工		一式			Y1E0208　(ﾚﾍﾞﾙ2)
防止柵工		一式			Y1E020803　(ﾚﾍﾞﾙ3)
フェンス基礎		基			Y1E02080301 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
1号フェンス基礎 基礎ブロック　金網柵 基礎砕石有り(t=10cm)	150	基			SPK22040245 0 A=1,B=1,D=2,E=1 単第0-0034　表　050110
2号フェンス基礎 550×550×800	2	箇所			G6002 科目内訳0006号表
受落し基礎 300×300×200	1	箇所			G6003 科目内訳0007号表
ネットフェンス		m			Y1E02080302 (ﾚﾍﾞﾙ4)
ネットフェンス H=2000　忍び返し付き	300	m			G6101 科目内訳0008号表
門扉		基			Y1E02080303 (ﾚﾍﾞﾙ4)
両開フェンス扉 H=2000　W=4000	1	箇所			G6102 科目内訳0009号表
仮設工		一式			Y1E0215　(ﾚﾍﾞﾙ2)
交通管理工		一式			Y1E021521　(ﾚﾍﾞﾙ3)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員		人			Y1E02152101 (ﾚﾍﾞﾙ4)
交通誘導警備員B	470	人			R0369　0　050110 1
JR安全対策		日			Y1E02152101 (ﾚﾍﾞﾙ4)
JR保安要員 工事管理者、列車見張員	15	日			V9001　0　単第0-0035　表　050110
＊＊直接工事費＊＊					
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

G3001

科目内訳表

科目内訳0001号表

10 m 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石有り	1.140	m3			SPK22040049 0 A=2,C=1,D=1,E=1 単第0-0001 表
＊＊＊ 合計 ＊＊＊	10	m			
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	m			

科目内訳表

G4101

科目内訳0002号表

D600

10 m 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径600mm 台付鉄筋コンクリート管（重圧管）	10	m			SPK22040089 0 A=1,B=8,C=2,E=1 単第0-0002 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.8	m3			SPK22040144 0 A=1,B=3,C=2,F=2,H=2,J=1,K=1 単第0-0003 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2.0	m2			SPK22040146 0 A=1,B=5,C=1 単第0-0004 表
＊＊＊ 合計 ＊＊＊	10	m			
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	m			

G4201

科目内訳表

科目内訳0003号表

1　箇所　当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	24.113	m3			SPK22040144 0 A=2,B=2,C=2,F=2,J=1,K=1 単第0-0005　表
型枠 一般型枠 小型構造物	66.051	m2			SPK22040146 0 A=1,B=2,C=1 単第0-0006　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

t=7cm　　10　m　当り

施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
	コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ７０mm 18-8-20BB	1.065	m2			S1040011　0 A=2,B=2,C=1,D=1,F=70,G=1 単第0-0007　表
	＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
	＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

２号張コンクリート

G5002

科目内訳表

科目内訳0005号表

t=7cm

10　m　当り

施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
	コンクリート打設工 小段排水溝 Co厚さ７０mm 18-8-20BB	1.947	m2			S1040009　0 A=2,B=1,C=2,D=1,E=1,G=70,H=1 単第0-0009　表
	＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
	＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

550×550×800　　10　箇所　当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	2.420	m3			SPK22040144 0 A=2,B=3,C=2,F=2,H=2,J=1,K=1 単第0-0011　表
型枠 一般型枠 小型構造物	17.600	m2			SPK22040146 0 A=1,B=2,C=1 単第0-0006　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	4.225	m2			SPK22040034 0 A=2,B=1,D=1 単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

受落し基礎

G6003

科目内訳表

科目内訳0007号表

300×300×200

10　箇所　当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.180	m3			SPK22040144 0 A=2,B=3,C=2,F=2,H=2,J=1,K=1 単第0-0011　表
型枠 一般型枠 小型構造物	2.400	m2			SPK22040146 0 A=1,B=2,C=1 単第0-0006　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1.600	m2			SPK22040034 0 A=2,B=1,D=1 単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

ネットフェンス

G6101

科目内訳表

科目内訳0008号表

H=2000　忍び返し付き

100　m　当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	100	m			SPK22040246 0 A=1,C=2,D=1 単第0-0013　表
ネットフェンス H=2000　忍び返し付き	100	m			T6101　0
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

両開フェンス扉

G6102

科目内訳表

科目内訳0009号表

H=2000　W=4000

100　箇所　当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
門扉 両開き	100	基			SPK22040250 0 A=2,C=1 単第0-0014　表
両開フェンス扉 H=2000　W=4000	100	基			T6102　0
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施 工 単 価 表

現場打基礎コンクリート　SPK22040049　単第0-0001　表

18-8-40BB　基礎砕石有り　1　m3　当り

機械構成比：　2.53%　労務構成比：　69.84%　材料構成比：　27.63%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 山積０．８ｍ３	1.78%		バックホウ ［クローラ型クレーン付］ 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
バックホウ［クローラ型］賃料 山積０．８ｍ３	0.75%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	20.39%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.58%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	22.83%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.38%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

現場打基礎コンクリート　SPK22040049　単第0-0001　表

18-8-40BB　基礎砕石有り　1　m3　当り

機械構成比：　2.53%　労務構成比：　69.84%　材料構成比：　27.63%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2　18-8-40BB D=1　一般養生・特殊養生(練炭)			C=1　基礎砕石有り E=1　-		

施 工 単 価 表

鉄筋コンクリート台付管　SPK22040089　単第0-0002　表

据付 管径600mm　台付鉄筋コンクリート管（重圧管）　1　m　当り

機械構成比：　4.84%　労務構成比：　24.96%　材料構成比：　70.20%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	3.94%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	7.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	5.50%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	4.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
重圧管 内径600,長さ2,000 質量1120kg　鳥取県認定グリーン商品	68.39%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm		TTPCD0416 TTPT00136
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.47%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

鉄筋コンクリート台付管　SPK22040089　単第0-0002　表

据付 管径600mm　台付鉄筋コンクリート管（重圧管）　1　m　当り

機械構成比：　4.84%　労務構成比：　24.96%　材料構成比：　70.20%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 台付鉄筋コンクリート管（重圧管）			B=8 管径600mm E=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

コンクリート　SPK22040144　単第0-0003　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　31.59%　材料構成比：　68.41%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員	14.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	68.41%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1　無筋・鉄筋構造物 C=2　18-8-40BB H=2　現場内小運搬無し K=1　-(全ての費用)			B=3　人力打設 F=2　一般養生 J=1　-		

型枠　　SPK22040146

施 工 単 価 表

単第0-0004　表

一般型枠　　均しコンクリート　　1　　m2　　当り

機械構成比：　0.00%　　労務構成比：　100.00%　　材料構成比：　0.00%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
型わく工	59.46%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=5　均しコンクリート		

施 工 単 価 表

コンクリート　SPK22040144　単第0-0005　表

小型構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比：　4.31%　労務構成比：　39.87%　材料構成比：　55.82%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 山積０．８ｍ３	4.07%		バックホウ ［クローラ型クレーン付］ 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	53.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.78%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

コンクリート　SPK22040144　単第0-0005　表

小型構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比：　4.31%　労務構成比：　39.87%　材料構成比：　55.82%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

型枠　　SPK22040146

施 工 単 価 表

単第0-0006　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比：　0.00%　　労務構成比：　100.00%　　材料構成比：　0.00%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施 工 単 価 表

コンクリート打設工　S1040011　単第0-0007　表

防草コンクリート Co厚さ７０mm　18-8-20BB　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			RTPC00009 9
特殊作業員	1.100	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.900	人			RTPC00002 9
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-20(25) W/C60%以下	8.470	m3			TTPC00003
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付1.7t吊 山積0.28m3 排対1･2･3次	0.890	日			S9035 単第0-0008 表
諸雑費	4.0	%			#09
＊＊＊ 合計 ＊＊＊	100	m2			
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	m2			
A=2 施工幅 1.0m超2.0m以下 C=1 - F=70 コンクリート厚さ(mm)			B=2 施工高さ -1.0m以上1.0m以下 D=1 18-8-20BB G=1 -		
コンクリート使用量 = 設計量 ＊ (1 + ロス率) = ((70 / 1,000) ＊ 100) ＊ (1 + 0.21) = 8.470(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0-0008　表

クレーン付1.7t吊 山積0.28m3 排対1･2･3次　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	39.50	L			TTPC00013
バックホウ（排出ガス対策型1次，2次） ［ｸﾛｰﾗ型］ｸﾚｰﾝ機能付 1.7ｔ吊　山積0.28m3	1.60	供用日			KTPC00019
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=8　クレーン付1.7t吊 山積0.28m3 排対1･2･3次 C=1　運転労務数量(人/日)			B=39.5　軽油消費量(L/日) D=1.6　機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

コンクリート打設工　S1040009　単第0-0009　表

小段排水溝 Co厚さ７０mm　18-8-20BB　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.800	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.100	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.500	人			RTPC00002 9
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-20(25) W/C60%以下	8.470	m3			TTPC00003
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準・クレーン付]山0.8m3 2.9t 超低騒音(排出ガス対策型2011年規制)	13.300	時間			S9006 単第0-0010 表
諸雑費	2.0	%			#09
＊＊＊ 合計 ＊＊＊	100	m2			
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	m2			
A=2 小段排水溝 C=2 施工高さ -6.5m以上4.5m以下 E=1 18-8-20BB			B=1 施工幅 4.0m以下 D=1 - G=70 コンクリート厚さ(mm)		
H=1 -					
コンクリート使用量 = 設計量 ＊ (1 + ロス率) = ((70 / 1,000) ＊ 100) ＊ (1 + 0.21) = 8.470(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-1_バックホウ運転　S9006　単第0-0010　表

クローラ[標準・クレーン付]山0.8m3 2.9t　超低騒音(排出ガス対策型2011年規制)　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	0.16	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	18.00	L			TTPC00013
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・クレーン機能・排2011 山積0.8/平積0.6m3,吊能力2.9t	1	時間			M1020519
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=14　クローラ[標準・クレーン付]山0.8m3 2.9t C=0　労務単価の夜間等割増率 E=0　運転労務数量（人/h）標準=省略			B=1　岩石工損料割増　無し D=7　超低騒音(排出ガス対策型2011年規制) F=0　燃料消費量（L/h）標準=省略		
運転日当運転時間 T = 690（③欄）/ 110（④欄）= 6.3 運転労務歩掛 1／T = 1 / 6.3 = 0.16 燃料消費量（時間当り）= 118.000（kW）× 0.153（燃料消費率） = 18.000（L／時間）					

施 工 単 価 表

コンクリート　SPK22040144　単第0-0011　表

小型構造物 18-8-40BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　44.48%　材料構成比：　55.52%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員	24.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	55.52%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2　小型構造物 C=2　18-8-40BB H=2　現場内小運搬無し K=1　-(全ての費用)			B=3　人力打設 F=2　一般養生 J=1　-		

施 工 単 価 表

基礎砕石　　SPK22040034　　単第0-0012　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比：　6.07%　　労務構成比：　75.99%　　材料構成比：　17.94%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型］賃料 山積０．８ｍ３	6.03%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.80%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	14.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン ＲＣ－４０	12.97%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	4.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

基礎砕石　　SPK22040034　　単第0-0012　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比：　6.07%　　労務構成比：　75.99%　　材料構成比：　17.94%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施 工 単 価 表

金網・支柱(立入防止柵)　SPK22040246　単第0-0013　表

基礎ブロック　支柱間隔2m　1　m　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　100.00%　材料構成比：　0.00%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員	90.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　基礎ブロック D=1　-(全ての費用)			C=2　支柱間隔2m		

施 工 単 価 表

門扉　　SPK22040250　　単第0-0014　表

両開き　　1　　基　　当り

機械構成比：　0.00%　　労務構成比：　100.00%　　材料構成比：　0.00%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員	77.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	19.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　　両開き			C=1　　-(全ての費用)		

施 工 単 価 表

掘削　　SPK22040001　　単第0-0015　表

土砂 オープンカット 押土無し　障害無し 5,000m3以上10,000m3未満　粘性土　1　m3　当り

機械構成比：　47.36%　労務構成比：　34.34%　材料構成比：　18.30%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	47.36%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	34.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	18.30%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 D=2　押土無し F=4　5,000m3以上10,000m3未満			B=1　オープンカット E=1　障害無し		

施 工 単 価 表

路体(築堤)盛土　　SPK22040004　　単第0-0016　表

施工幅員2.5m未満　　1　m3　当り

機械構成比：　0.78%　労務構成比：　99.01%　材料構成比：　0.21%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
振動ローラ［ハンドガイド式］賃料 質量０．８～１．１ｔ	0.78%		振動ローラ(舗装用) ［ハンドガイド式］ 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.61%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	0.21%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　施工幅員2.5m未満					

施 工 単 価 表

路体(築堤)盛土　　SPK22040004　　単第0-0017　表

施工幅員2.5m以上4.0m未満　　1　m3　当り

機械構成比：　17.63%　労務構成比：　74.71%　材料構成比：　7.66%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ(クローラ型) ［後方超小旋回型］ 山積0.28m3(平積0.2m3)	9.23%		バックホウ(クローラ型) ［後方超小旋回型］ 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
振動ローラ［搭乗式・コンバインド型］賃料 質量３～４ｔ 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.40%		振動ローラ(舗装用) ［搭乗式コンバインド型］ 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
特殊運転手	66.01%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	7.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施 工 単 価 表

路体(築堤)盛土　　SPK22040004　　単第0-0018　表

施工幅員4.0m以上　　施工数量10,000m3未満 障害無し　　1　m3　当り

機械構成比：　19.93%　労務構成比：　66.76%　材料構成比：　13.31%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	12.24%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t	7.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t		KTPC00058 KTPT00058
特殊運転手	45.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	13.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　施工幅員4.0m以上 C=1　障害無し			B=1　施工数量10,000m3未満		

施 工 単 価 表

土砂等運搬　　SPK22040002　　単第0-0019　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)　土砂　1　m3　当り

機械構成比：　47.26%　労務構成比：　37.92%　材料構成比：　14.82%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=22 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

基面整正　SPK22040017

施 工 単 価 表

単第0-0020　表

1　m2　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　100.00%　材料構成比：　0.00%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001

施 工 単 価 表

重力式擁壁　　SPK22040062　　単第0-0021　表

擁壁平均高さ1m超2m未満　　基礎砕石有り 均しCo無し　　1　m3　当り

機械構成比：　1.84%　労務構成比：　65.35%　材料構成比：　32.81%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	1.36%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	24.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	16.44%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	5.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.06%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	32.51%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	0.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

重力式擁壁　　SPK22040062　　単第0-0021　表

擁壁平均高さ1m超2m未満　　基礎砕石有り 均しCo無し　　1　m3　当り

機械構成比：　1.84%　労務構成比：　65.35%　材料構成比：　32.81%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 擁壁平均高さ1m超2m未満 D=2 基礎砕石有り F=1 一般養生 H=1 -			B=2 18-8-40BB E=1 均しCo無し G=1 圧送管延長距離無し		

施 工 単 価 表

コンクリートブロック積工(練積)　SDT00039　単第0-0022　表

滑面ブロック（リサイクル製品）　18-8-40BB　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】 時間的制約なし	1.000	m2			TDT001609
コンクリート積ブロック 滑面　150kg/個未満　JISタイプ リサイクル製品　鳥取県認定グリーン商品	1.000	㎡			TTM0162
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.246	m3			TTPCD0010
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.112	m3			TTPCD0010
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 C=1　18-8-40BB F=1　18-8-40BB			B=1　- E=1　- H=0.1　裏込コンクリートの厚さ(m)		
I=1　滑面ブロック（リサイクル製品）			L=1　時間的制約なし		

施 工 単 価 表

胴込・裏込材(砕石)　SPK22040045　単第0-0023　表

間知・平・連節・緑化ブロック　RC-40　1　m3　当り

機械構成比：　10.16%　労務構成比：　66.13%　材料構成比：　23.71%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 山積０．８ｍ３	10.16%		バックホウ ［クローラ型クレーン付］ 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	39.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	11.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン ＲＣ－４０	20.40%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　間知・平・連節・緑化ブロック			B=1　RC-40		

施 工 単 価 表

天端コンクリート　SPK22040050　単第0-0024　表

18-8-40BB　一般養生　1　m3　当り

機械構成比：　3.08%　労務構成比：　65.97%　材料構成比：　30.95%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 山積０．８ｍ３	3.08%		バックホウ ［クローラ型クレーン付］ 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.29%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	6.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	29.55%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施 工 単 価 表

天端コンクリート　SPK22040050　単第0-0024　表

18-8-40BB　一般養生　1　m3　当り

機械構成比：　3.08%　労務構成比：　65.97%　材料構成比：　30.95%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
A=2　18-8-40BB			C=1　一般養生		
D=1　-					

自由勾配側溝　　SDT00015

施 工 単 価 表

単第0-0025　表

500×1000×2000　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000を超え2000/個以下 時間的制約なし	1.000	m			TDT000783
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 500*1000*2000 参考重量1115kg　鳥取県認定グリーン商品	0.500	個			T2160079
再生クラッシャーラン ＲＣ－４０	0.110	m3			TTPC00008
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.087	m3			TTPCD0010
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 E=1　時間的制約なし G=2　RC-40			B=18　500×1000×2000 F=1　- I=0.92　基礎砕石の設計数量(m3/10m)		
J=1　18-8-40BB M=1　-			L=0.82　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)		

自由勾配側溝　　SDT00015

施 工 単 価 表

単第0-0026　表

B500-H1300　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000を超え2000/個以下 時間的制約なし	1.000	m			TDT000783
自由勾配側溝 縦断用　B500-H1300-L2000	0.500	個			F0000003001
再生クラッシャーラン ＲＣ－４０	0.110	m3			TTPC00008
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.087	m3			TTPCD0010
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=3001　【F】自由勾配側溝(2m/本) E=1　時間的制約なし			B=50　自由勾配側溝(各種) D=2　1000<重量≦2000 F=1　-		
G=2　RC-40 J=1　18-8-40BB M=1　-			I=0.92　基礎砕石の設計数量(m3/10m) L=0.82　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)		

自由勾配側溝　　SDT00015

施 工 単 価 表

単第0-0027　表

B600-H800　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			TDT000781
自由勾配側溝 縦断用　B600-H800-L2000	0.500	個			F0000003002
再生クラッシャーラン ＲＣ－４０	0.124	m3			TTPC00008
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.099	m3			TTPCD0010
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=3002　【F】自由勾配側溝(2m/本) E=1　時間的制約なし			B=50　自由勾配側溝(各種) D=1　1000≧重量 F=1　-		
G=2　RC-40 J=1　18-8-40BB M=1　-			I=1.03　基礎砕石の設計数量(m3/10m) L=0.93　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)		

施 工 単 価 表

インバートコンクリート　SPK22040144　単第0-0028　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比：　4.44%　労務構成比：　37.63%　材料構成比：　57.93%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 山積０．８ｍ３	4.19%		バックホウ ［クローラ型クレーン付］ 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	55.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

インバートコンクリート　SPK22040144　単第0-0028　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比：　4.44%　労務構成比：　37.63%　材料構成比：　57.93%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　無筋・鉄筋構造物 C=2　18-8-40BB J=1　-			B=2　バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2　一般養生 K=1　-(全ての費用)		

蓋版　　SDT00017

施 工 単 価 表

単第0-0029　表

コンクリート蓋　500歩道用　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			TDT000819
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品 歩道用ふた500用 参考質量59kg	1.000	枚			F0000003003
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 D=3003　【F】蓋版(枚) F=1　時間的制約なし			B=9　蓋版(各種) E=2　40<重量≦170 G=1　-		

蓋版　　SDT00017

施 工 単 価 表

単第0-0030　表

コンクリート蓋　600歩道用　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			TDT000819
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品 歩道用ふた600用 参考質量76kg	1.000	枚			F0000003004
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 D=3004　【F】蓋版(枚) F=1　時間的制約なし			B=9　蓋版(各種) E=2　40<重量≦170 G=1　-		

施 工 単 価 表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK22040228　単第0-0031　表

M-40　全仕上り厚２００mm 2層施工　1　m2　当り

機械構成比：　12.76%　労務構成比：　38.16%　材料構成比：　49.08%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	5.16%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	4.00%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ ８～２０ｔ	1.30%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	17.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	6.10%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK22040228　単第0-0031　表

M-40　全仕上り厚２００mm 2層施工　1　m2　当り

機械構成比：　12.76%　労務構成比：　38.16%　材料構成比：　49.08%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
粒度調整砕石 Ｍ－４０	45.70%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚200mm		TTPCD0022 TTPT00358
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.77%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=7　M-40 H=1　-(全ての費用)			E=200　全仕上り厚(mm)		

人力舗設　S3010005

施 工 単 価 表

単第0-0032　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.080	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.350	人			RTPC00001 9
普通作業員	6.380	人			RTPC00002 9
レディーミクストコンクリート 高炉 曲げ 4.5-6.5-40 W/C55%以下	15.600	m3			T1030103
異形鉄筋金網<JISG3551> SD295A,D6,網目150×150mm 単位質量3.49kg/m2	100.000	㎡			TT051
補強鉄筋鉄網 D13 200×200	0.001	kg			T1010045 建設物価1月号P75
異形棒鋼 ＳＤ３４５　Ｄ１３	0.001	t			TTPC00001
瀝青繊維質目地版 厚20mm	11.446	m			F0000000401 2420円/㎡×0.075
瀝青繊維質目地版 厚20mm	10.583	m			F0000000401 2420円/㎡×0.075
瀝青繊維質目地版 厚20mm	0.001	m			F0000000401 2420円/㎡×0.075
諸雑費	27	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			

人力舗設　S3010005

施 工 単 価 表

単第0-0032　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=4　曲げ4.5,スランプ6.5,粗骨材40(BB) C=0　石粉又は瀝青材の使用数量(t,L) F=0.001　補強鉄筋鉄網の使用数量(kg)			B=0.15　平均舗設厚(m) E=100　鉄網の使用数量(m2) G=0.001　補強鉄筋の使用数量(t)		
H=401　【F】縦目地(m) J=401　【F】横目地(m) L=401　【F】縦自由縁部(m)			I=11.446　縦目地の使用数量(m) K=10.583　横目地の使用数量(m) M=0.001　縦自由縁部の使用数量(m)		
舗設用コンクリート使用量 = 100(m2)*0.15(m)*(1+0.04) = 15.600(m3)			小数第4位四捨五入小数第3位止め		

目地板　　SPK22040114

施 工 単 価 表

単第0-0033　表

瀝青繊維質目地板t=20mm　　1　m2　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　38.83%　材料構成比：　61.17%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(積算地区)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員	32.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
瀝青繊維質目地板 厚２０ｍｍ	61.17%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0150 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=6　瀝青繊維質目地板t=20mm					

施 工 単 価 表

１号フェンス基礎　　SPK22040245　　単第0-0034　表

基礎ブロック 金網柵　　基礎砕石有り(t=10cm)　　1　基　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　80.47%　材料構成比：　19.53%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	72.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
基礎ブロック フェンス用ブロック 18×18×45(cm) 建設物価1月号	19.53%		基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)		TTPC00366 TTPT00366
積算単価			積算単価		EP001
A=1　基礎ブロック D=2　基礎砕石有り(t=10cm)			B=1　金網柵 E=1　-(全ての費用)		

JR保安要員　　V9001

施 工 単 価 表

単第0-0035　表

工事管理者、列車見張員　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
工事管理者	1	人			R0001
列車見張員	1	人			R0002
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

設計数量集計表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	粘性土	m3	5,200	
		掘削	砂質土	m3	3,200	
		表土剥取		m3	1,400	
	路体盛土工			式	1	
		路体(築堤)盛土	購入土,B<2.5	m3	560	
		路体(築堤)盛土	購入土,2.5≦B<4.0	m3	110	
		路体(築堤)盛土	購入土,B≧4.0	m3	3,000	
	残土処理工			式	1	
		土砂等運搬	土砂	m3	2,070	
		土砂等運搬	表土	m3	1,410	
		残土等処分		m3	3,480	
擁壁工				式	1	
	作業土工			式	1	
		基面整正		m2	73	
	場所打擁壁工			式	1	

設計数量集計表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
		重力式擁壁	GW15	m3	52	
石･ブロック積(張)工				式	1	
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工			式	1	
		基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m	297	
		コンクリートブロック積	控え35cm,裏コン10cm	m2	577	
		胴込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	127	
		裏込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	58	
		裏込砕石	RC-40	m3	209	
		天端コンクリート	σck=18N/mm2	m3	24	
排水構造物工				式	1	
	作業土工			式	1	
		基面整正		m2	10	
	側溝工			式	1	
		自由勾配側溝	縦断用,B500-H1000	m	2	
			縦断用,B500-H1300	m	3	
			縦断用,B600-H800	m	3	
		コンクリート蓋	500歩道用,L=0.50m	枚	5	

設計数量集計表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
		コンクリート蓋	600歩道用,L=0.50m	枚	3	
		基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1	材料費
		基礎砕石	RC-40	m2	8	材料費
		インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.4	材料費
	管渠工			式	1	
		重圧管	D600	m	3	
	排水工			式	1	
		洪水吐		箇所	1	
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		表層	コンクリート版,4.4MPa	m2	3,650	
		路盤	粒度調整砕石,M-40	m2	3,650	
		収縮目地	瀝青材質目地板	m2	60	
		膨張目地	瀝青材質目地板	m2	2	
		1号張コンクリート	t=7cm	m	184	
		2号張コンクリート	t=7cm	m	112	
防止柵工				式	1	

設計数量集計表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	防護柵工			式	1	
		フェンス	H=2000,忍び返し付き	m	300	
		1号フェンス基礎	250×250×500	箇所	150	
		両開フェンス扉	H=2000,W=4000	組	1	
		2号フェンス基礎	550×550×800	箇所	2	
		受落し基礎	300×300×200	箇所	1	
仮設工				式	1	
	交通管理工			式	1	
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	470	
		JR安全対策	工事管理者、列車見張員	日	15	

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	粘性土	m3	5,176	
		掘削	砂質土	m3	3,180	
		表土剥取		m3	1,411	
	路体盛土工			式	1	
		路体(築堤)盛土	購入土,B<2.5	m3	556	
		路体(築堤)盛土	購入土,2.5≦B<4.0	m3	114	
		路体(築堤)盛土	購入土,B≧4.0	m3	3,002	
	残土処理工			式	1	
		土砂等運搬	土砂	m3	2,073	
		土砂等運搬	表土	m3	1,411	
		残土等処分		m3	3,484	

数量集計表

種　別：掘削工
規　格：

細　別	規　格	単位	掘削工		合　計	摘　要
掘削	粘性土	m3	5,176.3		5,176.3	
	砂質土	m3	3,180.2		3,180.2	
表土剥取		m3	1,411.0		1,411.0	

一般計算書

種　　別：掘削工
ブロック：掘削工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
掘削 粘性土	造成地（区画①,②）に流用　3000 m3 造成地（区画③）　　に流用　5176.3-3000 = 2176.3 m3	5,176.3　m3
掘削 砂質土		3,180.2　m3
表土剥取		1,411.0　m3

平均断面体積計算表

工　　種：土工
規　　格：掘削工

測　点	距 離(m)	掘削（粘性土）			掘削（砂質土）			表土剥取			摘　要
		断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	
ZN0.0+3.1	—	46.3	—	—	43.7	—	—	16.1	—	—	ZN0.1と同数量
ZN0.1	16.9	46.3	46.30	782.5	43.7	43.70	738.5	16.1	16.10	272.1	
ZN0.1+17.4	17.4	46.3	46.30	805.6	43.7	43.70	760.4	16.1	16.10	280.1	ZN0.1と同数量
同点		56.2	—	—	34.4	—	—	14.4	—	—	ZN0.2と同数量
ZN0.2	2.6	56.2	56.20	146.1	34.4	34.40	89.4	14.4	14.40	37.4	
ZN0.3	20.0	47.7	51.95	1,039.0	26.4	30.40	608.0	12.6	13.50	270.0	
ZN0.4	20.0	41.2	44.45	889.0	19.1	22.75	455.0	10.9	11.75	235.0	
ZN0.5	20.0	47.3	44.25	885.0	14.5	16.80	336.0	8.9	9.90	198.0	
ZN0.5+13.3	13.3	47.3	47.30	629.1	14.5	14.50	192.9	8.9	8.90	118.4	ZN0.5と同数量
小　　計	110.2			5,176.3			3,180.2			1,411.0	
合　　計	110.2			5,176.3			3,180.2			1,411.0	

数量集計表

種　別：路体盛土工
規　格：

細　別	規　格	単位	路体盛土工		合　計	摘　要
路体(築堤)盛土	購入土,B<2.5	m3	555.9		555.9	
	購入土,2.5≦B<4.0	m3	114.0		114.0	
	購入土,B≧4.0	m3	3,002.4		3,002.4	

平均断面体積計算表

工　　種：土工
規　　格：路体盛土工

測　点	距 離(m)	路体盛土（B<2.5）			路体盛土（2.5≦B<4.0）			路体盛土（B≧4.0）			摘　要
		断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	
ZN0.0+3.1	—	4.8	—	—	1.4	—	—	20.8	—	—	ZN0.1と同数量
ZN0.1	16.9	4.8	4.80	81.1	1.4	1.40	23.7	20.8	20.80	351.5	
ZN0.1+17.4	17.4	4.8	4.80	83.5	1.4	1.40	24.4	20.8	20.80	361.9	ZN0.1と同数量
同点		5.3	—	—	1.1	—	—	39.9	—	—	ZN0.2と同数量
ZN0.2	2.6	5.3	5.30	13.8	1.1	1.10	2.9	39.9	39.90	103.7	
ZN0.3	20.0	5.2	5.25	105.0	1.2	1.15	23.0	34.3	37.10	742.0	
ZN0.4	20.0	5.2	5.20	104.0	1.4	1.30	26.0	28.8	31.55	631.0	
ZN0.5	20.0	5.0	5.10	102.0	0.0	0.70	14.0	22.5	25.65	513.0	
ZN0.5+13.3	13.3	5.0	5.00	66.5				22.5	22.50	299.3	ZN0.5と同数量
小　　計	110.2			555.9			114.0			3,002.4	
合　　計	110.2			555.9			114.0			3,002.4	

数量集計表

種　別：残土処理工
規　格：

細　別	規　格	単位	残土処理工		合　計	摘　要
土砂等運搬	土砂	m3	2,072.8		2,072.8	
	表土	m3	1,411.0		1,411.0	
残土等処分		m3	3,483.8		3,483.8	

一般計算書

種　　別：残土処理工
ブロック：残土処理工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
土砂等運搬 土砂	3180.2（砂質土）　－ 1107.4(公園・緑地へ流用）＝ 2072.8	2,072.8　m3
土砂等運搬 表土		1,411.0　m3
残土等処分	2072.8 ＋ 1411.0 ＝ 3483.8	3,483.8　m3

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
擁壁工				式	1	
	作業土工			式	1	
		基面整正		m2	73	
	場所打擁壁工			式	1	
		重力式擁壁	GW15	m3	51.9	

数量集計表

種　別：作業土工
規　格：

細　別	規　格	単位	作業土工		合　計	摘　要
基面整正		m2	73.4		73.4	

一般計算書

種　　別：作業土工
ブロック：作業土工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
基面整正	1.195×61.4m=73.37	73.4　m2

数量集計表

種　別：場所打擁壁工
規　格：

細　別	規　格	単位	場所打擁壁工		合　計	摘　要
重力式擁壁	GW15	m3	51.877		51.877	

場所打擁壁工計算書

種　　別：場所打擁壁工
ブロック：場所打擁壁工
区　　分：
細　　別：重力式擁壁
規　　格：

測点	距離(m)	H			摘要
		h(m)	平均h(m)	面積(m2)	
洪水調節池					
	0.00	0.00	0.000	0.00	
	0.57	1.42	0.710	0.40	
	13.39	1.35	1.385	18.55	
	8.93	1.31	1.330	11.88	
	8.07	0.50	0.905	7.30	
	0.00	0.50	0.250	0.00	
	8.07	1.29	0.895	7.22	
	1.08	0.00	0.645	0.70	
	0.00	0.00	0.000	0.00	
	1.08	1.29	0.645	0.70	
	12.90	1.35	1.320	17.03	
	7.85	1.31	1.330	10.44	
	0.52	0.00	0.655	0.34	
小　　計	62.46			74.56	
合　　計	62.46			74.56	

一般計算書

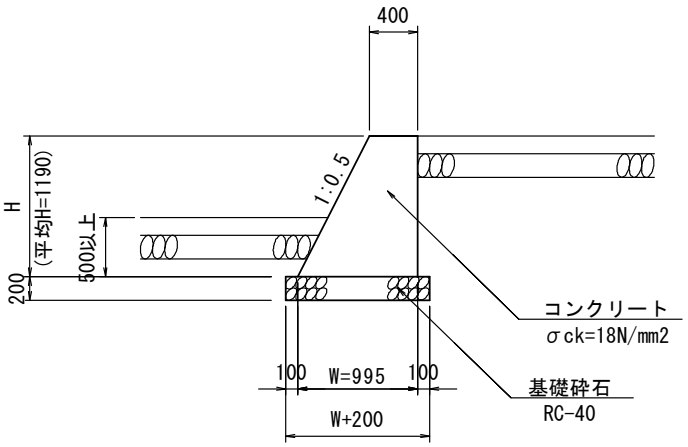
種　　別：場所打擁壁工
ブロック：場所打擁壁工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
重力式擁壁 GW15	L=31.0+31.5=62.5m 平均高H= 74.56/62.46=1.19m(場所打擁壁計算書より) コンクリートV= (0.40+0.995) ×1.19×1/2×62.5=51.877m3	51.877 m3

単位数量計算書

細　　別：重力式擁壁
規　　格：GW15　　10.0　m当り

略　図



材料／規格	算　　式	数　量
コンクリート σck=18N/mm2	(0.40+0.995)×1.190×1/2×10.0	8.300 m3
型枠 小型構造物	(1.190+1.190×1.118)×10.0 斜率1:0.5=1.118	25.204 m2
基礎砕石 RC-40	1.195×10.0	11.950 m2

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
石･ブロック積(張)工				式	1	
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工			式	1	
		基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m	296.8	
		コンクリートブロック積	控え35cm,裏コン10cm	m2	577.2	
		胴込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	127.0	
		裏込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	57.7	
		裏込砕石	RC-40	m3	208.5	
		天端コンクリート	σck=18N/mm2	m3	24.1	

数量集計表

種　別：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工
規　格：

細　別	規　格	単位	コンクリートブロック工		合　計	摘　要
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m	296.8		296.8	
コンクリートブロック積	控え35cm,裏コン10cm	m2	577.2		577.2	
胴込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	127.0		127.0	
裏込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	57.7		57.7	
裏込砕石	RC-40	m3	208.5		208.5	
天端コンクリート	σck=18N/mm2	m3	24.1		24.1	

ブロック積工計算書

名　称：ブロック積工計算書

測点	寸法						数量									備考
	天端ｺﾝ標高	基礎工標高	H	裏込砕石				ブロック積				裏込砕石				
	(m)	(m)	(m)	h (m)	上幅	下幅	距離	修正距離	SL	平均SL	面積	修正距離	面積	平均面積	体積	
【南側】平面折れ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	0.000	0.00	0.00	0.00	－	－	0.00	0.0	－	－	
	13.91	12.09	1.82	1.57	0.333	0.490	0.73	0.73	1.85	0.925	0.68	0.73	0.6	0.30	0.2	
重力式擁壁方向	13.91	12.09	1.82	1.57	0.333	0.490	16.47	16.47	1.85	1.850	30.47	16.47	0.6	0.60	9.9	
	13.91	12.09	1.82	1.57	0.333	0.490	4.01	4.01	1.85	1.850	7.42	4.01	0.6	0.60	2.4	
平面折れ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	0.000	0.55	0.55	0.00	0.925	0.51	0.55	0.0	0.30	0.2	
【西側】平面折れ	0.00	0.00	0.00	0.00		0.000	0.00	0.00	0.00	0.000	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0	
	13.91	12.09	1.82	1.57	0.333	0.490	0.55	0.55	1.85	0.925	0.51	0.55	0.6	0.30	0.2	
ZN0.5方向西側	13.88	12.04	1.84	1.59	0.333	0.492	10.93	10.93	1.87	1.860	20.33	10.93	0.7	0.65	7.1	
ZN0.4方向西側	13.81	11.94	1.87	1.62	0.333	0.495	20.85	20.85	1.91	1.890	39.41	20.85	0.7	0.70	14.6	
ZN0.3方向西側	13.74	11.84	1.90	1.65	0.333	0.498	20.85	20.85	1.94	1.925	40.14	20.85	0.7	0.70	14.6	
ZN0.2方向西側	13.67	11.74	1.93	1.68	0.333	0.501	20.85	20.85	1.97	1.955	40.76	20.85	0.7	0.70	14.6	
重力式擁壁	13.66	11.72	1.94	1.69	0.333	0.502	3.13	3.13	1.98	1.975	6.18	3.13	0.7	0.70	2.2	
同点	13.66	10.91	2.75	2.50	0.333	0.583	0.00	0.00	2.85	2.415	0.00	0.00	1.1	0.90	0.0	
ZN0.1西側	13.35	10.85	2.50	2.25	0.333	0.558	17.70	17.70	2.58	2.715	48.06	17.70	1.0	1.05	18.6	
	13.10	10.80	2.30	2.05	0.333	0.538	13.86	13.86	2.37	2.475	34.30	13.86	0.9	0.95	13.2	
平面折れ	0.00	0.00	0.00	0.00		0.000	1.22	1.22	0.00	1.185	1.45	1.22	0.0	0.45	0.5	
【北側】平面折れ	0.00	0.00	0.00	0.00		0.000	0.00	0.00	0.00	0.000	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0	
	13.09	10.80	2.29	2.04	0.333	0.537	1.22	1.22	2.36	1.180	1.44	1.22	0.9	0.45	0.5	
小　　計							132.92				271.66				98.8	

ブロック積工計算書

名　称：ブロック積工計算書

測点	寸法						数量									備考
	天端ｺﾝ標高	基礎工標高	H	裏込砕石				ブロック積				裏込砕石				
	(m)	(m)	(m)	h (m)	上幅	下幅	距離	修正距離	SL	平均SL	面積	修正距離	面積	平均面積	体積	
	13.09	10.80	2.29	2.04	0.333	0.537	－	0.00	2.36	－	－	0.00	0.9	－	－	
洪水吐始り	13.16	10.77	2.39	2.14	0.333	0.547	7.24	7.24	2.47	2.415	17.48	7.24	0.9	0.90	6.5	
4NO.9右側	13.21	10.74	2.47	2.22	0.333	0.555	5.97	5.97	2.55	2.510	14.98	5.97	1.0	0.95	5.7	
水路横断	13.25	10.72	2.53	2.28	0.333	0.561	3.68	3.68	2.62	2.585	9.51	3.68	1.0	1.00	3.7	
洪水吐終り	13.34	10.77	2.57	2.32	0.333	0.565	9.65	9.65	2.66	2.640	25.48	9.65	1.0	1.00	9.7	
4NO.10右側	13.40	10.80	2.60	2.35	0.333	0.568	6.67	6.67	2.69	2.675	17.84	6.67	1.1	1.05	7.0	
重力式擁壁	13.40	10.80	2.60	2.35	0.333	0.568	0.58	0.58	2.69	2.690	1.56	0.58	1.1	1.10	0.6	
同点	13.40	11.72	1.68	1.43	0.333	0.476	0.00	0.00	1.70	2.195	0.00	0.00	0.6	0.85	0.0	
	13.52	11.78	1.74	1.49	0.333	0.482	12.50	12.50	1.77	1.735	21.69	12.50	0.6	0.60	7.5	
	0.00	0.00	0.00	0.00		0.000	0.70	0.70	0.00	0.885	0.62	0.70	0.0	0.30	0.2	
	0.00	0.00	0.00	0.00		0.000	0.00	0.00	0.00	0.000	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0	
	13.52	11.78	1.74	1.49	0.333	0.482	0.70	0.70	1.77	0.885	0.62	0.70	0.6	0.30	0.2	
	13.53	11.78	1.75	1.50	0.333	0.483	4.31	4.31	1.78	1.775	7.65	4.31	0.6	0.60	2.6	
ZNO.1東側	12.58	11.78	0.80	0.55	0.333	0.388	9.62	9.62	0.75	1.265	12.17	9.62	0.2	0.40	3.8	
ANO.1右側	12.27	11.78	0.49	0.24	0.333	0.357	3.14	3.14	0.42	0.585	1.84	3.14	0.1	0.15	0.5	
	11.93	11.78	0.15	-0.10	0.000	0.000	3.42	3.42	0.05	0.235	0.80	3.42	0.0	0.05	0.2	
【東側】進入路始	13.57	13.42	0.15	-0.10	0.000	0.000	0.00	0.00	0.05	0.025	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0	
ZNO.1東側	13.60	12.46	1.14	0.89	0.333	0.422	9.62	9.62	1.12	0.585	5.63	9.62	0.3	0.15	1.4	
ANO.1右側	13.61	12.14	1.47	1.22	0.333	0.455	3.14	3.14	1.48	1.300	4.08	3.14	0.5	0.40	1.3	
小　　計							80.94				141.95				50.9	

ブロック積工計算書

名　称：ブロック積工計算書

測点	寸法						数量									備考
	天端ｺﾝ標高	基礎工標高	H	裏込砕石				ブロック積				裏込砕石				
	(m)	(m)	(m)	h (m)	上幅	下幅	距離	修正距離	SL	平均SL	面積	修正距離	面積	平均面積	体積	
AN0.1右側	13.61	12.14	1.47	1.22	0.333	0.455	－	0.00	1.48	－	－	0.00	0.5	－	－	
	13.62	11.80	1.82	1.57	0.333	0.490	3.42	3.42	1.85	1.665	5.69	3.42	0.6	0.55	1.9	
重力式擁壁横断	13.66	11.80	1.86	1.61	0.333	0.494	10.44	10.44	1.90	1.875	19.58	10.44	0.7	0.65	6.8	
ZN0.2東側	13.67	11.80	1.87	1.62	0.333	0.495	3.00	3.00	1.91	1.905	5.72	3.00	0.7	0.70	2.1	
AN0.2右側	13.68	11.80	1.88	1.63	0.333	0.496	3.14	3.14	1.92	1.915	6.01	3.14	0.7	0.70	2.2	
	13.71	11.80	1.91	1.66	0.333	0.499	8.78	8.78	1.95	1.935	16.99	8.78	0.7	0.70	6.1	
ZN0.3東側	13.74	11.84	1.90	1.65	0.333	0.498	8.08	8.08	1.94	1.945	15.72	8.08	0.7	0.70	5.7	
AN0.3右側	13.75	11.85	1.90	1.65	0.333	0.498	3.14	3.14	1.94	1.940	6.09	3.14	0.7	0.70	2.2	
ZN0.4東側	13.81	11.94	1.87	1.62	0.333	0.495	16.86	16.86	1.91	1.925	32.46	16.86	0.7	0.70	11.8	
AN0.4右側	13.82	11.95	1.87	1.62	0.333	0.495	3.14	3.14	1.91	1.910	6.00	3.14	0.7	0.70	2.2	
ZN0.5東側	13.88	12.04	1.84	1.59	0.333	0.492	16.86	16.86	1.87	1.890	31.87	16.86	0.7	0.70	11.8	
AN0.5右側	13.89	12.05	1.84	1.59	0.333	0.492	3.14	3.14	1.87	1.870	5.87	3.14	0.7	0.70	2.2	
AIP-1右側	13.90	12.08	1.82	1.57	0.333	0.490	4.95	4.95	1.85	1.860	9.21	4.95	0.6	0.65	3.2	
	13.91	12.09	1.82	1.57	0.333	0.490	2.19	2.19	1.85	1.850	4.05	2.19	0.6	0.60	1.3	
平面折れ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	0.000	0.73	0.73	0.00	0.925	0.68	0.73	0.0	0.30	0.2	
小　　計							87.87				165.94				59.7	
合　　計							301.73				579.55				209.4	

一般計算書

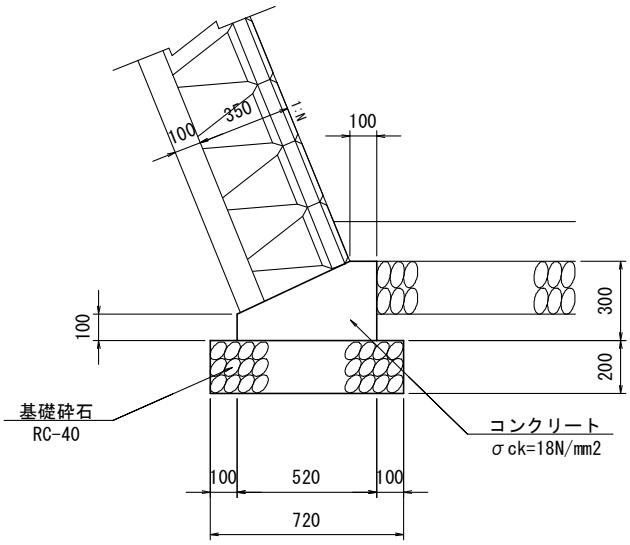
種　　別：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工
ブロック：コンクリートブロック工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
基礎コンクリート σck=18N/mm2	L=20.5+108.2+68.2+99.9=296.8m	296.8　m
コンクリートブロック積 控え35cm,裏コン10cm	A=579.55m2(ブロック積工計算書より) 縦断用自由勾配側溝B500-H1300 控除　-0.69m2 縦断用自由勾配側溝B600-H800　控除　-0.49m2 縦断用自由勾配側溝B500-H1000 控除　-0.55m2 重圧管 D600　　控除　-0.59m2 579.55-(0.69+0.49+0.55+0.59)=577.2m2	577.2　m2
胴込コンクリート σck=18N/mm2	577.2×2.2/10.0m2=126.984	127.0　m3
裏込コンクリート σck=18N/mm2	577.2×0.10=57.720	57.7　m3
裏込砕石 RC-40	V=209.4m3(ブロック積工計算書より) 縦断用自由勾配側溝B500-H1300 控除　-0.3m3 縦断用自由勾配側溝B600-H800　控除　-0.2m3 縦断用自由勾配側溝B500-H1000 控除　-0.2m3 重圧管 D600　　控除　-0.2m3 209.4-(0.3+0.2+0.2+0.2)=208.5m2	208.5　m3
天端コンクリート σck=18N/mm2	L=21.8+109.9+69.4+100.6=301.70m 301.70×0.798/10.0m=24.076m3	24.1　m3

単位数量計算書

細　　別：基礎コンクリート
規　　格：σck=18N/mm2　　10.0　m当り

略　図

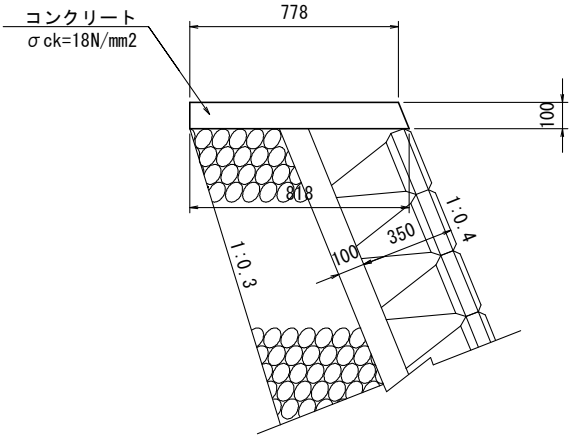


材料／規格	算　　式	数　量
コンクリート σck=18N/mm2	((0.10+0.52)×1/2×0.20+0.52×0.10)×10.0	1.140 m3
型枠 小型構造物	(0.10+0.30)×10.0	4.000 m2
基礎砕石 RC-40,t=200	0.72×10.0	7.200 m2

単位数量計算書

細　　別：天端コンクリート
規　　格：σck=18N/mm2　　10.0　m当り

略　図



材料／規格	算　　式	数　量
コンクリート σck=18N/mm2	(0.778+0.818)×1/2×0.10×10.0	0.798 m3
型枠 小型構造物	(0.10+0.10×1.077)×10.0 ※斜率1:0.4=1.077	2.077 m2

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
排水構造物工				式	1	
	作業土工			式	1	
		基面整正		m2	10	
	側溝工			式	1	
		自由勾配側溝	縦断用,B500-H1000	m	2.5	
			縦断用,B500-H1300	m	2.9	
			縦断用,B600-H800	m	2.8	
		コンクリート蓋	500歩道用,L=0.50m	枚	5	
		コンクリート蓋	600歩道用,L=0.50m	枚	3	
		基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1	材料費
		基礎砕石	RC-40	m2	8	材料費
		インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.4	材料費
	管渠工			式	1	
		重圧管	D600	m	2.7	
	排水工			式	1	
		洪水吐		箇所	1.0	

数量集計表

種　別：作業土工
規　格：

細　別	規　格	単位	作業土工		合　計	摘　要
基面整正		m2	9.9		9.9	

作業土工

種　　別：作業土工
ブロック：作業土工
区　　分：
細　　別：基面整正
規　　格：

名　称	規　格	延長・箇所	単位土工	数　量	備　考
自由勾配側溝	B500-H1000	2.46	0.920	2.26	
自由勾配側溝	B500-H1300	2.85	0.920	2.62	
自由勾配側溝	B600-H800	2.75	1.030	2.83	
管渠工（重圧管）	D600	2.67	0.800	2.14	
小　　計				9.85	
合　　計				9.85	

数量集計表

種　別：側溝工
規　格：

細　別	規　格	単位	側溝工		合　計	摘　要
自由勾配側溝	縦断用,B500-H1000	m	2.46		2.46	
	縦断用,B500-H1300	m	2.85		2.85	
	縦断用,B600-H800	m	2.75		2.75	
コンクリート蓋	500歩道用,L=0.50m	枚	5		5	
	600歩道用,L=0.50m	枚	3		3	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.692		0.692	
基礎砕石	RC-40	m2	7.718		7.718	
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.406		0.406	

一般計算書

種　　別：側溝工
ブロック：側溝工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
自由勾配側溝 縦断用,B500-H1000	3-1号集水桝～洪水調節池	2.46　m
縦断用,B500-H1300	洪水吐～12号集水桝	2.85　m
縦断用,B600-H800	2号集水桝～洪水調節池	2.75　m
コンクリート蓋 500歩道用,L=0.50m	(2.46+2.85)/1.0=5	5　　枚
コンクリート蓋 600歩道用,L=0.50m	2.75/1.0=3	3　　枚
基礎コンクリート σck=18N/mm2	数量計算より	0.692 m3
基礎砕石 RC-40	数量計算より	7.718 m2
インバートコンクリート σck=18N/mm2	数量計算より	0.406 m3

数量集計表

種　別：管渠工
規　格：

細　別	規　格	単位	管渠工		合　計	摘　要
重圧管	D600	m	2.7		2.7	

一般計算書

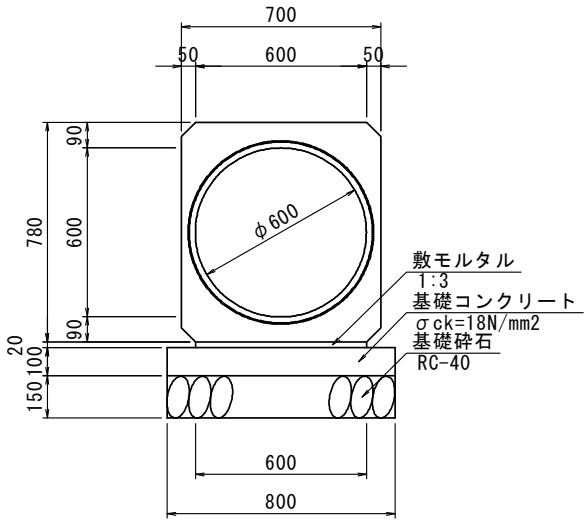
種　　別：管渠工
ブロック：管渠工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
重圧管 D600	3-2号集水桝～洪水調節池	2.7　m

単位数量計算書

細　　別：重圧管
規　　格：D600　　10.0　m当り

略　図



材料／規格	算　　式	数　　量
重圧管 D600,L=2000	10.0/2.0	5.0　本
敷モルタル 1：3	0.600×0.02×10.0	0.120 m3
基礎コンクリート σck=18N/mm2	0.80×0.10×10.0	0.800 m3
同上型枠 無筋構造物	0.10×2×10.0	2.000 m2
基礎砕石 RC-40,t=150	0.80×10.0	8.000 m2

数量集計表

種　別：排水工
規　格：

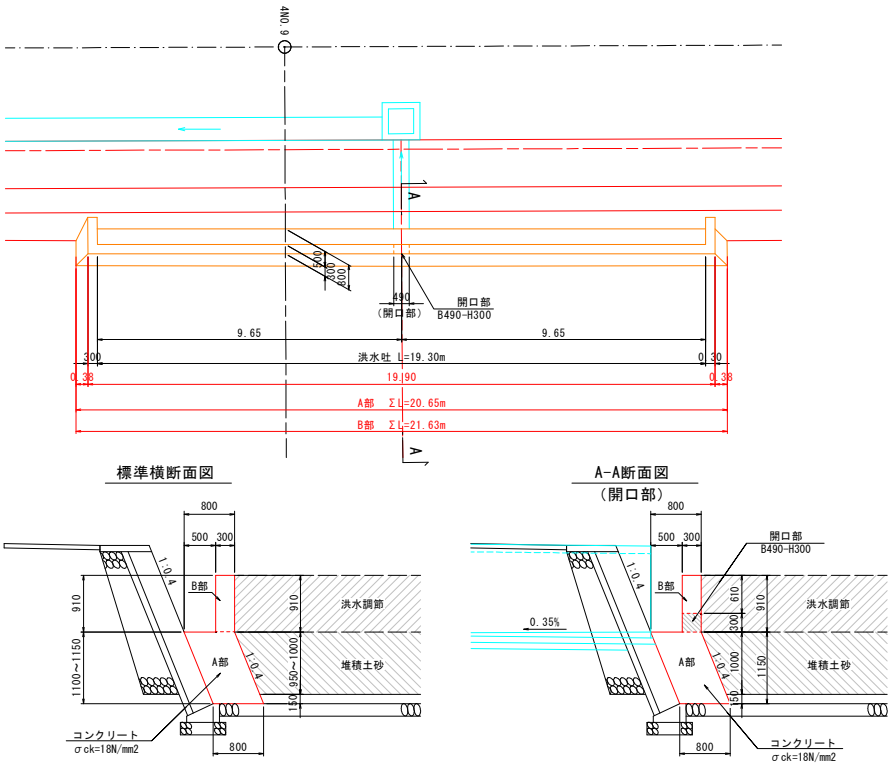
細　別	規　格	単位	排水工		合　計	摘　要
洪水吐		箇所	1.0		1.0	

単位数量計算書

細　　別：洪水吐
規　　格：

1.0　箇所当り

略　図



材料／規格	算　　式	数　　量
コンクリート σck=18N/mm2	(平均H　A部)　(1.10+1.15)/2=1.125 (断面積 A部) 0.800×1.125=0.900 (断面積 B部) 0.300×0.910=0.273 0.900×19.90+1/2×0.900×0.380×2+0.273×21.63-0.490×0.300 ×0.300	24.113 m3
型枠 小型構造物	(1/2×(19.90+20.65)×1.125+0.800×1.125×2)×1.077 +0.910×21.63×2-0.490×0.300×2 +(0.490+0.300)×0.300×2 斜率1:0.4=1.077	66.051 m2

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		表層	コンクリート版,4.4MPa	m2	3,650.2	
		路盤	粒度調整砕石,M-40	m2	3,650.2	
		収縮目地	瀝青材質目地板	m2	60.3	
		膨張目地	瀝青材質目地板	m2	2.4	
		1号張コンクリート	t=7cm	m	184.2	
		2号張コンクリート	t=7cm	m	112.2	

数量集計表

種　別：コンクリート舗装工
規　格：

細　別	規　格	単位	コンクリート舗装工		合　計	摘　要
表層	コンクリート版,4.4MPa	m2	3,650.2		3,650.2	
路盤	粒度調整砕石,M-40	m2	3,650.2		3,650.2	
収縮目地	瀝青材質目地板	m2	60.3		60.3	
膨張目地	瀝青材質目地板	m2	2.4		2.4	
1号張コンクリート	t=7cm	m	184.2		184.2	
2号張コンクリート	t=7cm	m	112.2		112.2	

一般計算書

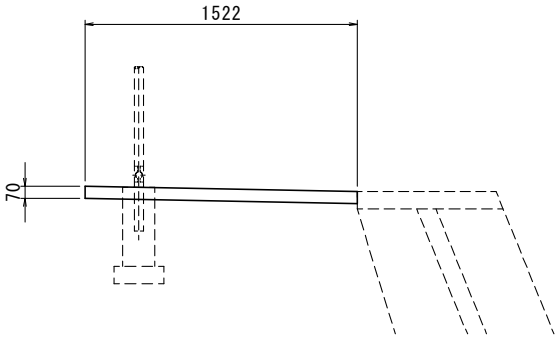
種　　別：コンクリート舗装工
ブロック：コンクリート舗装工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　　量
表層 コンクリート版,4.4MPa	洪水調節池構造図参照	3,650.2　m2
路盤 粒度調整砕石,M-40	洪水調節池構造図参照	3,650.2　m2
収縮目地 瀝青材質目地板	洪水調節池構造図参照	60.3　m2
膨張目地 瀝青材質目地板	洪水調節池構造図参照	2.4　m2
1号張コンクリート t=7cm	洪水調節池構造図参照 134.7+49.5=184.2	184.2　m
2号張コンクリート t=7cm	洪水調節池構造図参照	112.2　m

単位数量計算書

細　　別：1号張コンクリート
規　　格：t=7cm　　10　　m当り

略　図

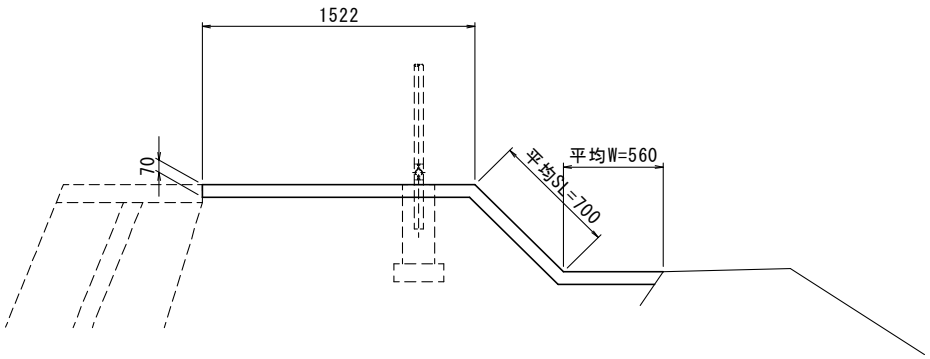


材料／規格	算　　式	数　　量
コンクリート σck=18N/mm2	1.522×0.07×10.0=1.065	1.065 m3
目地板 t=10mm	1.522×0.07=0.107 (伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。)	0.107 m2

単位数量計算書

細　　別：2号張コンクリート
規　　格：t=7cm　　10　　m当り

略　図



材料／規格	算　　式	数　量
コンクリート σck=18N/mm2	(1.522+0.70+0.56)×0.07×10.0=1.947	1.947 m3
目地板 t=10mm	(1.522+0.70+0.56)×0.07=0.195 (伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。)	0.195 m2

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
防止柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		フェンス	H=2000,忍び返し付き	m	300	
		1号フェンス基礎	250×250×500	箇所	150	
		両開フェンス扉	H=2000,W=4000	組	1.0	
		2号フェンス基礎	550×550×800	箇所	2.0	
		受落し基礎	300×300×200	箇所	1.0	

数量集計表

種　別：防護柵工
規　格：

細　別	規　格	単位	防護柵工		合　計	摘　要
フェンス	H=2000,忍び返し付き	m	300.0		300.0	
1号フェンス基礎	250×250×500	箇所	150		150	
両開フェンス扉	H=2000,W=4000	組	1.0		1.0	
2号フェンス基礎	550×550×800	箇所	2.0		2.0	
受落し基礎	300×300×200	箇所	1.0		1.0	

一般計算書

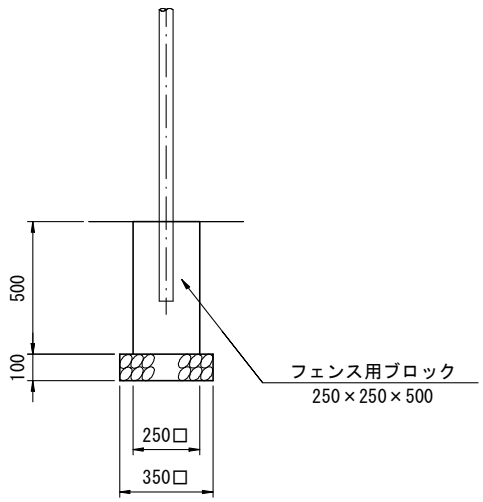
種　　別：防護柵工
ブロック：防護柵工
区　　分：

細別／規格	算　　式　／　　図	数　量
フェンス H=2000,忍び返し付き		300.0　m
1号フェンス基礎 250×250×500	300/2 （※2.0mに1箇所を標準として計上）	150　箇所
両開フェンス扉 H=2000,W=4000		1.0　組
2号フェンス基礎 550×550×800		2.0　箇所
受落し基礎 300×300×200		1.0　箇所

単位数量計算書

細　　別：1号フェンス基礎
規　　格：250×250×500　　10　　箇所当り

略　図

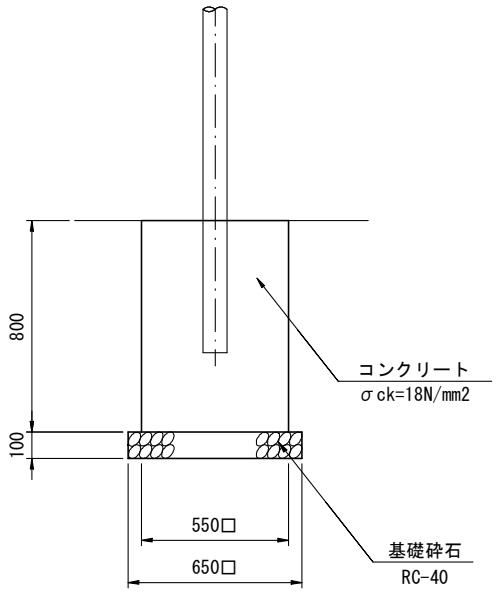


材料／規格	算　　式	数　　量
フェンス用ブロック 180×180×450		10.0　個
基礎砕石 RC-40, t=100	0.35×0.35×10.0	1.225 m2

単位数量計算書

細　　別：2号フェンス基礎
規　　格：550×550×800　　10　　箇所当り

略　図

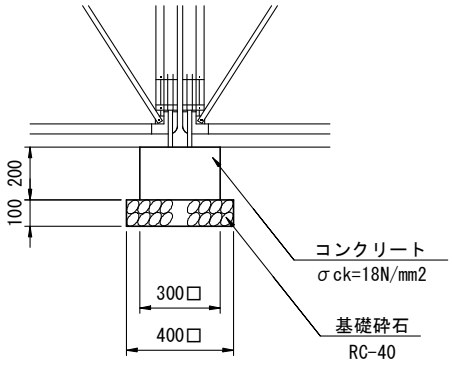


材料／規格	算　　式	数　　量
コンクリート σck=18N/mm2	0.55×0.55×0.80×10	2.420 m3
型枠 小型構造物	0.55×0.80×4×10	17.600 m2
基礎砕石 RC-40, t=100	0.65×0.65×10	4.225 m2

単位数量計算書

細　　別：受落し基礎
規　　格：300×300×200　　10　　箇所当り

略　図



材料／規格	算　　式	数　　量
コンクリート σck=18N/mm2	0.30×0.30×0.20×10	0.180 m3
型枠 小型構造物	0.30×0.20×4×10	2.400 m2
基礎砕石 RC-40,t=100	0.40×0.40×10	1.600 m2

工種数量総括表

工　種	種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
仮設工				式	1	
	交通管理工			式	1	
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	470	
		JR安全対策	工事管理者、列車見張員	日	15	